

修学旅行新聞

発行所 財団法人 全国修学旅行研究協会
発行人 前田 千太郎
編集者 田中 西三郎
印刷所 東京 千代田区西神田 2-24-26
電話 2426-2932
電報 3-36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なうべき教育上極めて重要な行事である。従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常態の改善に努力しつづつ教育効果の充実に努める事は必要であり教育界に課せられた責務でもある。
(財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から)

自己教育力の育成をめざして

修学旅行研究大会ひらく



研究大会参加者による研究協議

次代を担う青少年の

人づくりへ熱意結集

関東地区公立中学校修学旅行委員会(滝嶋三三会長・川崎市立川越第一中学校校長)および全国修学旅行研究協会(山本種一理事長)主催による「自己教育力を育てる修学旅行」次代を担う青少年の人づくりをめざして、テーマとする修学旅行研究大会は、十月二十一日大宮市民会館で開催され、三百名にのぼる全国からの参加者の熱意を結集し、盛會に終った。

この研究大会は、文部省をはじめ、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県および大宮市の各教育委員会、埼玉県中学校長会、関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会の後援により、埼玉県の大宮市民会館において開催された。昨年の大会の成果を継承し、現在の学校教育の実態に照

自己教育力を育てる 修学旅行

文部省教科調査官 高橋哲夫氏



高橋哲夫氏

一、学校教育の現状と課題
(1)子どもの実態から
校内暴力をはじめ、反社会的問題行動は減少しているが、一方、登校拒否を代表する対人関係不適応を中心とする、非社会的問題行動が増加している。また「アパシー」の総称がふさわしい「感じない」子どもがふえてきている。したがって、心の豊かさを調和のとれたパーソナリティ、たくましい精神、集団のなかで自己を主張し、個性を伸ばすことのできる子どもの育成が現在最も大切である。
(2)中教審審議経過報告と臨教審一次答申から
両者から共通に提起されている今後の学校教育の課題として

「主体的に学ぶ、意欲、態度、能力」であり、広義の「自己学習力」であるといえる。その育成のためには、問題解決的・問題探究的学習法「なご基本」となり、特別活動や修学旅行においても重視されよう。
(2)自己教育力と自己指導力
「自己指導力」の育成は生徒指導の究極的な目標であり、「他の援助なしに、主体的に物事を」選択し、判断し、決定し、実行できる能力」である。したがって、「自己教育力」「自己学習力」は、生徒の自己表現に必要不可欠なものである。その育成のためには、「自己指導力」の一環として、特別活動の領域や修学旅行は、この課題達成のための重要な工夫や改善が必要である。
二、自己教育力と自己指導力
(1)自己教育力の意義と育成の観点
今後の情報化社会に生きて自己実現を果すのに必要な内容を

「主体的に学ぶ、意欲、態度、能力」であり、広義の「自己学習力」であるといえる。その育成のためには、問題解決的・問題探究的学習法「なご基本」となり、特別活動や修学旅行においても重視されよう。
(2)自己教育力と自己指導力
「自己指導力」の育成は生徒指導の究極的な目標であり、「他の援助なしに、主体的に物事を」選択し、判断し、決定し、実行できる能力」である。したがって、「自己教育力」「自己学習力」は、生徒の自己表現に必要不可欠なものである。その育成のためには、「自己指導力」の一環として、特別活動の領域や修学旅行は、この課題達成のための重要な工夫や改善が必要である。
三、修学旅行の意義と果す役割
(1)特別活動と修学旅行
修学旅行が学校行事の一つであることから、とくに、前の前記の学習指導要領の趣旨、すなわ

「自己教育力」の育成、基礎基本の重視、個性の尊重などがあげられ、教育における「不易の本質」としてとらえねばならない。特別活動の領域や修学旅行は、この課題達成のための重要な工夫や改善が必要である。
二、自己教育力と自己指導力
(1)自己教育力の意義と育成の観点
今後の情報化社会に生きて自己実現を果すのに必要な内容を

「自己教育力」の育成、基礎基本の重視、個性の尊重などがあげられ、教育における「不易の本質」としてとらえねばならない。特別活動の領域や修学旅行は、この課題達成のための重要な工夫や改善が必要である。
三、修学旅行の意義と果す役割
(1)特別活動と修学旅行
修学旅行が学校行事の一つであることから、とくに、前の前記の学習指導要領の趣旨、すなわ

研究報告

修学旅行を通じての自己啓発

宇都宮市立横川中学校校長 滝田 潔氏



滝田 潔氏

この研究報告は、関東・東海近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会による修学旅行実態調査報告(五八・五九年度)を分析考察し、修学旅行を通じて、児童生徒の自己啓発のあり方を追求したものである。この調査によれば、修学旅行のマンネリ化を打破し、自主学習・体験学習を取り入れて、積極的に改善充実を促している学校がある。一方では、問題行動対策で余裕のない学校もあるが、このような学校でも修学旅行を、学校啓発の機会として活用している学校がある。

「自己教育力」の育成、基礎基本の重視、個性の尊重などがあげられ、教育における「不易の本質」としてとらえねばならない。特別活動の領域や修学旅行は、この課題達成のための重要な工夫や改善が必要である。
三、修学旅行の意義と果す役割
(1)特別活動と修学旅行
修学旅行が学校行事の一つであることから、とくに、前の前記の学習指導要領の趣旨、すなわ

「自己教育力」の育成、基礎基本の重視、個性の尊重などがあげられ、教育における「不易の本質」としてとらえねばならない。特別活動の領域や修学旅行は、この課題達成のための重要な工夫や改善が必要である。
三、修学旅行の意義と果す役割
(1)特別活動と修学旅行
修学旅行が学校行事の一つであることから、とくに、前の前記の学習指導要領の趣旨、すなわ

研究報告

修学旅行を通じての自己啓発

宇都宮市立横川中学校校長 滝田 潔氏



滝田 潔氏

この研究報告は、関東・東海近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会による修学旅行実態調査報告(五八・五九年度)を分析考察し、修学旅行を通じて、児童生徒の自己啓発のあり方を追求したものである。この調査によれば、修学旅行のマンネリ化を打破し、自主学習・体験学習を取り入れて、積極的に改善充実を促している学校がある。一方では、問題行動対策で余裕のない学校もあるが、このような学校でも修学旅行を、学校啓発の機会として活用している学校がある。

風紋

十一月下旬NHK再放送「女三人旅」を観た。各地遍歴の途次、それぞれにドラマがこり、終着駅に達した時三人三様の自己発見の旅であったというお話し。芭蕉は伊賀上野の出、初め土木工事の足音をしながらの俳諧の道を行く。学生、ようやく江戸で宗匠になったが、三年足らずその職にあきたらず、脱日常の旅が精進の早道と悟り、旅を積み重ね、心の遍歴の境地に達した。ルンも「ひとり徒歩で旅した時ほどゆたかに考え、ゆたかに存在し、ゆたかに生き、あえていふならば、ゆたかに私自身であったことではない」と。両者いずれも自己発見の旅といえる。団体旅行でも孤独をかみしめることはできる。かつてブルー・タウトは「日本の鉄道は伝統ある文化を破壊する」といつたが、今日はその比でない。観光地にしても、旅の楽しみは表面にあらわれた欲望だけをとりえらるるいはあるが(○)教育の影響も知れない。虚と実を見抜くことが必要である。天の橋立の股のそき「風景と自分だけの世界の儀式ともいえる。京の「哲学の道」は思索の散歩道。リルケは「目立たない美しさをもつ多くのものを前を言人のように通り過ぎ、定評のある作品のまわりに駆けよるが、多くの場合失望させる。作品と自己の間に親近感がない……案内書には、それを見よ(かげ)でよい」(フィレンツェ)だより。人間は考える蓋といわれる。自然や仏像を味わった後の自分を見つめる目は養える。アンドレ・ジイドの「コンゴ紀行」の冒頭のことば。「思慮なく動くかぬものたらんよりは、思慮もなく動くものたれ」キーツ。

「先生、ステキな修学旅行をありがとうございました」

生徒の笑顔を大切に… ツーリストの修学旅行。

生徒たちの青春を飾る思い出深いワンシーン。修学旅行は、より有意義な旅にしたいですね。ワールドワイドなネットワークを通じて、ツーリストがお世話する修学旅行は各方面より多大な好評を得ています。それぞれの教育方針に添った国内・海外の修学旅行なら、なんなりと近畿日本ツーリストにご相談ください。

近畿日本ツーリスト 本社 千101 東京都千代田区神田松永町19-2 ☎(03)255-7111 営業所/国内242所(登録)/海外13カ所
◎運輸大臣登録一般旅行業第20号

講演要旨

現代青少年の心理と集団活動

筑波大学教授 加藤隆勝氏

一、はじめに
今回は現代青少年の実態から、集団活動・学校行事等が何故重要であるかについてみてみたい。

方としては、学校活動、生徒会活動等の生徒の日常における自主的活動を充分育成し、生徒同士の中に規制が生ずるような方向が望まれる。学校教育の節である学校行事の充実、日常の教育活動の充実によって可能になることを望む。

二、大人への離反と仲間への同調性
今の子どもは小学生時代からものごとく感動を示さず、大人に対して冷たいといわれる。また自分より小さい者に対しても同様である。この同年代の者への同調性、年齢のあたる者への冷たい傾向は全世界的なものである。いわゆる現代青少年文化の特徴である。

三、希薄な自己と社会との結びつき
子どもたちに将来の生活の願いを聞くと、私生活、個人生活の充足に大きく傾斜している。そして社会的、公共的なものに対する関心が低い。予測困難な将来よりも、現在の幸いを求める結果となっている。社会の発展がなくては個人の充実はないのであり、自己と社会の結びつきを回復する必要がある。思いやりの心とは、自己への愛を他者への愛に転じていくことである。自己愛を純化し、公化して人間愛にまで高めていくことである。この自己愛から他者愛への断絶を埋めるものは、家庭教育であり、学校教育である。他人に迷惑をかける人間でなく、積極的に他者に働きかけ、他者のために役立つ人間づくりに望まれる。この意味で実践活動、集団活動である修学旅行等が重要である。



加藤隆勝氏

（一）急激な社会変化で、数年前と比べて、次のようなことが考えられる。

（二）急激な社会変化で、数年前と比べて、次のようなことが考えられる。

（三）急激な社会変化で、数年前と比べて、次のようなことが考えられる。

辻原弘市理事を悼む

財団法人 全国修学旅行研究協会

理事長 山本種一

昭和六十一年十月十九日、辻原弘市君が自らの生涯の仕事として創設に力を注いだ国際武道大学の野球場開きに出席する途中、千葉県勝浦市の国鉄勝浦駅構内で心筋こうそくのため忽然として逝去した。六十二歳の若さで突然不届の客となったのである。

辻原弘市氏（つじはらひろし）は、財団法人全国修学旅行研究協会理事・元衆議院議員。十月十九日午前十一時五十分、心筋こうそくのため千葉県勝浦市で急逝されました。享年六十二歳。

辻原弘市氏は、二十日東京新宿の太田寺で、また、財団法人日本武道館・学校法人国際武道大学・日本対外文化協会の合同告別式は十一月五日東京芝の増上寺会館で、それぞれ盛大に執り行われました。

辻原弘市氏は、二十日東京新宿の太田寺で、また、財団法人日本武道館・学校法人国際武道大学・日本対外文化協会の合同告別式は十一月五日東京芝の増上寺会館で、それぞれ盛大に執り行われました。

昭和61年春 新館増築「北嶺」オープン (130名収容) 座禅体験で「心、リフレッシュ!!」

びわ湖国定公園 近江路の旅へ 収容 600名様 浴場 150名様 設備 全館冷暖房 防災 諸設備完備 駐車場 バス20台

京都市火災予防条例改正により 防災寝具の使用

防災布団リース 御指導先 京都市消防局 販売もいたします。

防炎寝具製造認定工場 寝具工業所